

平成 27 年度 鴨川市水道事業会計決算概要

1 業務量（カッコ内は前年度対比率）

- (1) 年間有収水量 4, 362, 031 m³ (1.2%減)
(2) 有収率 79.5% (1.7ポイント減)

<H26 / 81.2%、H25 / 81.5%、H24 / 81.7%、H23 / 82.3%、H22 / 81.9%>

※有収水量(m³)・・・水道料金徴収の対象となった水量

※有収率 (%)・・・有収水量÷給水量

2 収益的収支決算（消費税抜き、カッコ内は前年度対比率）

- ・ 事業収益 1, 340, 293, 352 円 (2.5%減)
・ 事業費 1, 283, 170, 455 円 (0.7%増)

当年度純利益 57, 122, 897 円

※事業収益の減は、主に給水収益及び給水申込負担金の減少によるもの

※事業費の増は、主に修繕費及び職員給与費の増加によるもの

3 資本的収支決算（消費税込み）

- ・ 資本的收入 6, 588, 000 円
・ 資本的支出 373, 214, 459 円

うち企業債償還金 (331, 287, 970 円)

4 企業債残高

- (1) 平成 26 年度末残高 4, 118, 168, 170 円
(2) 平成 27 年度借入高 0 円
(3) 平成 27 年度償還高 331, 287, 970 円

(1)+(2)-(3)平成 27 年度末企業債残高 3, 786, 880, 200 円

5 財政健全化に向けた取り組み

- (1) 経常経費の抑制（支払利息等）
- (2) 改良事業の計画的な実施（補填財源の確保を図るため事業規模を縮小）

6 主要な建設工事について

- (1) 太海跨線橋付近配水管布設替工事

＜老朽管布設替工事＞

- (2) 市道法明山田線配水管布設替工事

＜老朽管布設替工事＞

- (3) 高鶴配水場外電磁流量計更新工事（高鶴配水場・江見浄水場）

＜監視制御設備強化のための工事＞

7 資金不足比率について

- (1) 財政健全化法第 22 条による財政指標の公表

→ 水道事業会計の資金不足比率を公表

- ・ 資金不足比率とは、短期的に債務が債権を上回っている状態の比率

- (2) 鴨川市水道事業の資金不足比率について

- ・ 債権が債務を上回っているので、該当はありません。

資	料
---	---

■ 業務量(※金額は消費税抜き)

項 目	単位	平成27年度(A)	平成26年度(B)	増減(A)-(B)	
年間総給水量	m³	5,485,880	5,435,020	50,860	
年間有収水量	m³	4,362,031	4,414,428	△ 52,397	
1日最大給水量	m³	19,446	19,184	262	
1日平均給水量	m³	14,988	14,890	98	
給水収益(水道料金)	円	1,171,437,830	1,185,396,970	△ 13,959,140	※
供給単価 【1m³当りの売上単価】	円	268.55	268.53	0.02	※
給水原価 【1m³当りの製造原価】	円	261.93	253.53	8.40	※

※ 地方公営企業会計制度の見直しにより給水原価の算定方法として、長期前受金戻入を算入することとなったため、前年度の給水原価を新たな算定方法で再計算をすると253.53円となります。

■ 収益的収入及び支出の決算状況(消費税抜き)

(単位 円)

区 分		平成27年度(A)	平成26年度(B)	比較増減(A)-(B)	
				増減(A)-(B)	増減率%
収 入	営業収益	1,187,827,364	1,200,007,980	△ 12,180,616	△ 1.0
	うち給水収益	1,171,437,830	1,185,396,970	△ 13,959,140	△ 1.2
	営業外収益	152,465,988	174,903,847	△ 22,437,859	△ 12.8
	計	1,340,293,352	1,374,911,827	△ 34,618,475	△ 2.5
支 出	営業費用	1,157,840,814	1,123,493,995	34,346,819	3.1
	営業外費用	125,329,641	134,967,051	△ 9,637,410	△ 7.1
	うち支払利息	124,354,773	132,564,113	△ 8,209,340	△ 6.2
	特別損失	0	15,382,556	△ 15,382,556	△ 100.0
	計	1,283,170,455	1,273,843,602	9,326,853	0.7
損 益		57,122,897	101,068,225	△ 43,945,328	△ 43.5

■ 資本的収入及び支出の決算状況(消費税込み)

(単位 円)

区 分		平成27年度(A)	平成26年度(B)	比較増減(A)-(B)	
				増減(A)-(B)	増減率%
収 入	企業債	0	203,000,000	△ 203,000,000	△ 100.0
	国庫補助金	0	12,000,000	△ 12,000,000	△ 100.0
	負担金	0	11,957,457	△ 11,957,457	△ 100.0
	出資金	6,588,000	6,285,000	303,000	4.8
	補助金	0	9,212,000	△ 9,212,000	△ 100.0
	計	6,588,000	242,454,457	△ 235,866,457	△ 97.3
支 出	建設改良事業費	41,926,489	284,504,959	△ 242,578,470	△ 85.3
	企業債償還金	331,287,970	320,672,663	10,615,307	3.3
	計	373,214,459	605,177,622	△ 231,963,163	△ 38.3
収 支 差		△ 366,626,459	△ 362,723,165	△ 3,903,294	

■ 中期経営計画の進捗状況について

鴨川市水道事業中期経営計画（平成 24 年度から平成 28 年度まで）

平成 27 年度施策報告

1. 目的

本計画は、水道事業の効率的経営を推進し将来にわたって安心・安全で良質な水を安定的に供給していくため、期間中に実行すべき施策を明確にし、計画的な事業運営を図ることを目的とした。

2. 実施期間 平成 27 年度（平成 24 年度から平成 28 年度まで）

3. 取組結果

I 基本方針 安全で良質な水を継続的に供給できる水道

○ 適切な水質管理の継続

- ・ 総トリハロメタン濃度を基準値 0.1mg/L 以下に管理
- ・ 浄水においてカビ臭を基準値 0.00001mg/L 以下に管理
- ・ 追加塩素設備等の運用により、残留塩素濃度を 0.1mg/L 以下に管理

○ 水質管理体制の充実

- ・ 逐次改正される水質基準等に対応した水質検査計画の策定、実施
- ・ 計画的な設備更新工事、点検整備による水質検査体制の維持

結果	・ 安全安心な水道水を供給するための「適切な水質管理の継続」、「水質管理体制の充実」に係る施策は、計画を達成している。
----	---

II 基本方針 災害等の非常時に強い水道

○ 電気・機械設備点検整備の実施

- ・ 設備の予防保全を図るため、点検整備を実施

○ 管路の維持管理の実施

- ・ 主要管路布設替対策の実施（補助事業として計画策定、実施）
- ・ 管路強化対策の実施（漏水箇所を優先的に更新）
- ・ 漏水防止対策の実施（エリアを定めた漏水探査）

○ 災害等非常時対策の充実

- ・ 災害等応急対策マニュアルの見直し、緊急連絡訓練の実施
- ・ 緊急用資材の備蓄の充実

結果	安定的に水道水を供給するため、浄水・送水等の施設の適正な維持管理、災害等対応体制の充実強化に係る施策は、計画を達成している。
----	--

III 基本方針 安定した経営とサービス向上を維持できる水道

○ 健全経営の維持

- 建設改良事業を縮小することにより、費用の削減・財政の健全化に努めた

○ 施設見学の実施

- 浄水実験を取り入れる等、わかりやすい説明を実施

結果	今年度においては、前年度に発覚した補填財源不足額を解消するため、当初に予定していた企業債の借入れを取りやめ、建設改良事業を大幅に縮小することで補填財源の確保を図った。 来年度以降については、一般会計補助金及び千葉県市町村水道総合対策事業補助金等の補助金を有効に活用し、資金計画を作成するとともに、水道事業を運営するに当たって必要な施設改修等の建設改良事業を精査し、計画的に実施していく必要がある。
----	---